

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表日:令和8年 1月 13日

集計期間:令和7年12月1日～ 12月31日

事業所名:友愛こどもクラブ とことこ

回答数: 7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 整備・ 体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	1		個室が少ないため、個別に対応できるパーティションなどの工夫をしていく
	②	職員の配置数は適切であるか	6		1		職員の配置基準に基づき支援体制を整えている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7				入口にスロープ、誰でもトイレの設置など設備面での配慮
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2			昼礼やスタッフ会議を利用して情報を共有するとともに、職員が児童の目標、支援の実施と評価に参加している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				第三者評価事業の受審なども活用し業務改善を図っている
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	7				ホームページで公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2			第三者評価事業の受審(令和5年度)
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7				動画研修を導入し毎月全体研修の場を設定している
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				個人面談やサービス計画の保護者等の希望に沿った支援計画を立てるように努めている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7				児童支援シートを用いてアセスメントを実施している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7				児童の様子や相性などを職員で確認してグループでの活動を目標にプログラムを立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1			グループ活動、創作活動、季節の行事や屋外活動、ソーシャルスキルトレーニングなど児童に応じて取り入れている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1			子供たちが多様な体験ができるよう園内だけでなく園外活動や活動時間に応じたプログラムを検討、実施している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後デイサービス計画を作成しているか	6	1			集団活動と個別活動を計画的に取り組み、評価している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7				日々の朝会で確認をしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2			翌日に前日の支援について共有する時間を設けている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				個別支援計画の内容に沿って日々の生活記録を取り、個別支援計画に反映している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				毎月のケース会議にて、検討課題について話し合い、必要に応じて支援方針の変更をおこなっている
関係 機関 や保護 者との 連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7				個別支援計画にガイドラインの基本活動を明記し、保護者への説明をおこない支援にあたっている
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1			児童担当職員や児童発達支援管理責任者等、会議の内容に合わせて対応する職員を変えている
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7				学校施設連絡会への参加し学校との共有を図っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか		3	4		医療的ケアが必要な申し込みがない(現在はてんかんの対応程度)
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	1		家庭と相談のうえ、必要に応じて対応しているが、実際には計画相談事業所が情報共有の伝達窓口となっている場合が多い

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表日:令和8年 1月 13日

集計期間:令和7年12月1日～ 12月31日

事業所名:友愛こどもクラブ とことこ

回答数: 7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3		4		進路先の確認程度で支援の情報提供等までは実施していない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7				研修活動などへ参加している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	1	児童館や図書館、地域交流プラザ等の活用をしている
	㉗	(地域自立支援)協議会等への積極的に参加しているか	6	1			市が主催する放課後等デイサービス連絡会への参画
保護者 への説明 責任等	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				送迎時以外でも日常的に電話連絡などの手段を使い保護者と相談や共有を図っている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	1		家庭でも取り組めるような支援方法を考えフィードバックしている
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				契約の際に説明している
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				日々は連絡帳や送迎時、個別面談などで伺っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	5		保護者からの意見などもあり、保護者会については設置していないが、情報発信には努めたい
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				苦情受付窓口を設定しており、苦情解決には迅速丁寧におこなうことを心がけている 第三者苦情解決委員を設置している
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7				学期毎に活動の様子や行事など「おたより」として情報発信をおこなっている
	㉟	個人情報に十分注意しているか	7				個人情報同意書で確認している
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				合理的配慮に基づき、視覚的支援を原則とし、保護者に対しても必要に応じた対応をしている
非常時 等の対応	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		1		法人の行事として学園祭を実施
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	1		同法人内の他事業所と連携した避難訓練の実施などおこなっている
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7				定期的に火災想定避難訓練、土砂災害における避難訓練、感染症予防の対応訓練を実施している
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				虐待チェックリストを年2回実施 研修に全職員の参加を義務付けている
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	1		身体拘束の実施事例はないがその手順や手続きについては組織としてマニュアルがある
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		1		利用開始時に保護者に確認している
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7				誰にでも起こり得ることとして事例を共有し、再発予防の話し合いを実施	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。